

科目名	看護解剖生理学Ⅳ 骨格系・筋系・神経系（体を支え、動かし、伝達するしくみ）					DP4 DP6		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	25 時間	担当 教員	浦 恵 (6.5)、井本 浩樹 (6.5) 浦 恵 (12)		
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、骨格系・筋系・神経系の解剖生理から体を支え、動かし、伝達するしくみを学ぶ。								
到達 目標	1. 体を支えるしくみを理解することができる。 2. 体を動かすしくみを理解することができる。 3. 情報を収集して判断し、伝達するしくみを理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1～3	骨学総論		骨と骨格（骨の形状・構造・骨の発生とリモデリング、骨の化学的成分、骨の連結）				講義	浦	
	体幹、上肢、下肢、頭部の骨		脊柱、胸郭、骨盤、上肢骨、下肢骨、頭蓋						
	骨と軟骨の生理		骨の成分、骨の機能、軟骨の生理						
4～6	筋学総論		筋の形状、筋の補助装置、筋の神経支配				講義	井本	
	体幹、上肢、下肢、頭部の筋		頸部、胸部、腹部、背部、上肢、下肢、頭部の筋						
	興奮性組織の一般生理 筋の生理		静止電位と活動電位、閾値と全か無かの法則 興奮の殿堂と伝達、筋の収縮、平滑筋						
7～12	神経細胞とその働き		神経細胞、興奮の伝導と伝達				講義	浦	
	中枢神経系、末梢神経系の構造と機能		中枢神経系（脊髄、脳、伝導路、髄膜、脳室と脳脊髄液、脳の血管系、脳循環、脳波、睡眠、条件反射） 末梢神経系（脳神経、脊髄神経、自律神経系）						
13	試験		(1 時間)				試験		
評価 基準	浦 (25 点)、井本 (25 点)、浦 (50 点) の合計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 1 人体のしくみと働き 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									